

背景

- 公立高校を巡る環境が大きく変化
 - ・ 少子化に伴う入学者数の減少
 - ・ デジタル技術の進展等による学習ニーズの多様化
 - ・ 授業料無償化等による公立離れが懸念

対応方向

- 地域における学び場を確保する観点から、地域が一体となり、教育機能の維持・向上を図る。
- 人口減少対策等の地方創生の観点からも、高校の魅力化について地域の主体な議論・取組の促進

取組内容 道・道教委が連携し、道立高校の魅力向上に向けて高校や地域の取組を促進

地域における高校魅力化促進事業

道・道教委が連携し、地域が主体となった高校魅力化の取組を促進

- アンケート・ヒアリングの実施
 - ・ 道立高校が1市町村1校の自治体を対象にアンケート調査を実施（R8.3実施済）
 - ・ アンケート結果をもとに、地域における高校への支援ニーズ等をヒアリング
- セミナー・個別相談会の開催（道内6圏域で開催予定）
 - ・ 先行事例の紹介等のセミナーを開催
 - ・ 専門家・先進地関係者による個別相談の実施

地域が主体的に実施する
高校魅力化の取組に対して…

地域づくり総合交付金等により重点支援

道立高校の魅力向上プロジェクト事業

道立高校の特色を活かし、地域と連携した魅力向上・発信の取組

- 道立高校間留学（どさんこ道内留学）
 - ・ 地方部・都市部の高校生が、それぞれ都市部・地方部の道立高校へ「道内留学」することで多様な学習体験を提供
- 私立通信制高校との連携
 - ・ 私立通信制高校と連携し、より専門性の高い科目の履修を可能にするなど学びの選択肢を拡大
- 道立高校魅力発信サイト
 - ・ ソーシャルメディア「note」を活用し、道立高校の魅力や特色をわかりやすく発信

地域における高校魅力化の取組について (十勝教育局)

現状・課題

- まずは、道立学校の**魅力づくり**や**特色**ある教育活動をしっかり**把握**することが必要
- その上で、更なる魅力化の推進にあっては**地域の自治体や地元の経済界**など、幅広い関係者から**ご協力をいただく**ことが重要

対応方向

- 今後の魅力化に向けて、**どのような支援**が必要かを検討する。その際、**コミュニティ・スクールの活用**や、自治体関係者、経済界等との**つながりの強化**など、学校への**支援の拡大**につながるよう支援する。

※ 全校を対象とするが、**メインターゲットは小規模校**

取組内容 各道立高校の魅力化に向けた取組状況の把握と支援

魅力創出

- **道立高校の魅力づくりや特色ある教育活動の把握**
 - ・ 高校に訪問し、取組状況の把握、今後の取組の方向性等を聴取 など
- **首長や地元経済団体等からの意見聴取**
 - ・ 市町村長を訪問し、地元の道立高校の魅力化に向けたビジョンを聴取
 - ・ 十勝総合振興局と連携し、地元経済団体からも意見を聴取
 - ・ それぞれの道立学校に対する協力体制の一層の充実 など
- **地元の中学生の進路動向の把握・分析、魅力化に向けた方策の検討**
 - ・ 中学生の進路動向（進路調査結果等）を市町村教育委員会から聴取
 - ・ 道立高校と共有し、今後の魅力化に向けた検討を支援（場の設定等）
 - ・ 道立高校と市町村の連携体制に、十勝教育局も必要に応じて協議に参画 など

魅力発信

- **学校のPR方策の工夫・改善**
 - ・ 中学生や保護者、中学校教員等に向けた効果的なPR方策の検討を支援
 - ・ 中学生が学校生活や卒業後の進路をイメージしやすいようにするなど、学校説明会等でのPRポイントの工夫・改善を支援 など